

関西学院大学 研究成果報告

2020年 5 月 27 日

関西学院大学 学長殿

所属： 経営戦略研究科
職名： 教授
氏名： 前田 祐治

以下のとおり、報告いたします。

研究制度	<input type="checkbox"/> 特別研究期間 <input type="checkbox"/> 自由研究期間 <input type="checkbox"/> 大学共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 個人特別研究費 <input type="checkbox"/> 博士研究員 ※国際共同研究交通費補助については別様式にて作成してください。
研究課題	リスクマネジャーとしての近江商人
研究実施場所	関西学院西宮上ヶ原キャンパス、ローマ市、東京、久留米
研究期間	2019年4月1日 ～ 2020年3月31日 (12 ヶ月)

◆ 研究成果概要 (2,500字程度)

上記研究課題に即して実施したことを具体的に記述してください。

本研究では近江商人を日本企業の源泉であると考え、そのリスクマネジャーとしての役割と現在の日本企業のリスクマネジメントとの比較分析を行った。また、日本と欧米諸外国とのリスクマネジメントの違いなどの比較分析を同時に行った。

研究手法として、一つに日本では近江商人、欧米ではリバプール商人、アラブ商人などのリスクマネジメントのルーツを調べることにした。2つめにリスクマネジメントの専門家や企業のリスクマネジャーとの意見交換を行うことを主な手法とした。

東京または大阪において企業数社を対象に個別訪問を実施、慎重にデータ調査、分析を行い、さらに図書館での資料調査により追加的な検証を行った。そして、学会発表や学会においてリスクマネジメントの専門家と意見交換をするなどにより更なる検証・分析を行った。

具体的な調査内容は以下のとおりである。

1. ローマで開催されたEGRIE（ヨーロッパリスク研究学会）学会への参加において、欧米のリスクマネジメント専門家からのデータ収集。
2. 東京工業大学でのリスク学会に参加し、本研究発表と日本のリスクマネジメ

ントの専門家（久保先生、上野先生その他）からのアドバイスと同時に追加データの収集。

3. 久留米大学における地域学会において本研究発表と専門家とによる意見交換と議論。専門家からアドバイスを受ける。
4. 関西学院大学、滋賀大学図書館でのリスクマネジメント関連書籍の調査。
5. 滋賀大学での近江商人の研究資料の収集。
6. 近江商人の歴史研究家の上村雅洋先生、曾根秀一先生、酒井泰弘先生との面談によるデータ収集。
7. 数社の企業リスクマネジャー訪問。

本研究で判明したのは、リスクマネジメントに関わる歴史的な背景、文化的な背景、組織論の違い、経営手法の違いが、それぞれの国の企業リスクマネジメントに大きな影響を与えているという結果であった。

これらの研究業績に関しては以下の出版物によって、社会に広く配信した。

- 「企業リスクマネジメントと保険の限界」（2019）単著、経済学論究第73巻第3号、関西学院大学経済学部研究会、pp. 85-104。
- 「日本企業のリスクマネジメントは米国と何が違うのか？」（2020）単著、保険学雑誌、第648号、日本保険学会、pp. 165-182。

本研究結果から、将来の日本企業におけるリスクマネジメントについて考察すると、日本の企業リスクマネジメントは今後よりいっそうの進化を求められる。

鍵になるのはその人材育成である。そのために以下のような項目が必要になると提言する。

1. リスクマネジメントの網羅的で専門的な教育体制を大学または大学院で確立する；教育現場と業界のつながりを強めるための交流を密にし、業界のニーズに応えられるカリキュラムを提供する
2. インターン制度を教育の単位として認めるなどを行う；保険業界の経験者による大学での講座を増やしていく
3. 大学RMI教育の中にERMを含める；業界が認める価値があって、統一的なリスクマネジメント資格の創設・提供とそれを推進する協会や団体の創設をする。
4. 保険ブローカー制度を充実させる。
5. リスクファイナンスとしてのキャプティブを推進する。

リスクマネジメントの分野で、日本の大学のより一層の貢献が求められそうである。少なくとも、米国並みのリスク教育の充実によるリスク業界の発展が必要である。

提出期限：研究期間終了後2ヶ月以内

※個人特別研究費：研究費支給年度終了後2ヶ月以内 博士研究員：期間終了まで

提出先：研究推進社会連携機構（NUC）

※特別研究期間、自由研究期間の報告は所属長、博士研究員は研究科委員長を経て提出してください。

◆研究成果概要は、大学ホームページにて公開します。研究遂行上大学ホームページでの公開に支障がある場合は研究推進社会連携機構までご連絡ください。